



## 今、あらためてのル・コルビュジエ

講師：林美佐（大成建設ギャラリー・タイセイ学芸員）

### 概要

2016年7月、ル・コルビュジエが手掛けた7ヶ国17資産がユネスコ世界文化遺産に登録され、20世紀を代表する巨匠の作品に再び注目が集まっています。

誰もが知っている「ル・コルビュジエ」ですが、彼はいったい何者だったのでしょうか？

単に「建築家」という肩書には収まらない活動を展開したル・コルビュジエの、その人となりと多岐にわたる創作活動をあらためて見直してみたいと思います。そして、彼の生き方や、建築と美術との関連性の中から、彼の作品のみが放つ独特の魅力の秘密を探ります。多くの画像によって作品をご紹介します。



《サヴォワ邸》

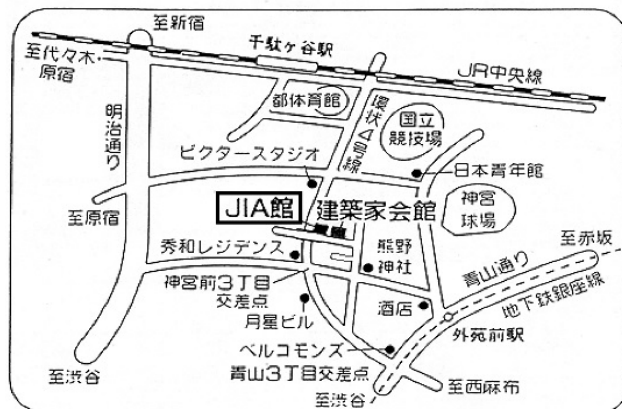
(photo: P. Koslowski)



《ロンシャンの礼拝堂》

(photo: Rory Hyde)

- 日時：2017年11月10日（金）19:00～21:00（18:30受付開始）
- 場所：日本建築家協会 J I A館1F建築家クラブ  
渋谷区神宮前2-3-18 TEL:03-3408-8291
- 主催：JIA関東甲信越支部 金曜の会（部会長 日高敏郎）
- 協賛：NP0 建築家教育推進機構
- 参加費：一般1500円（飲食物代含む） 学生無料
- CPD：認定プログラム 2単位（ID：00218675）
- 参加資格：どなたでも参加可能です。
- 申込：<https://goo.gl/mKpT3V>（自動受付）  
準備のため、お申込みは前日までお願いします。
- 問合せ：frdmjia@gmail.com 当日：070-1265-7008（佐藤）





《ラ・ロッシュ+ジャンヌレ邸》 (photo: © FLC/ADAGP)



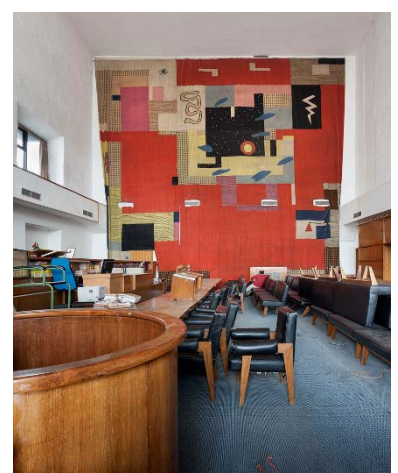
《ナンジセール・エ・コリのアパート》  
(photo: Olivier Martin-Gambier 2005© FLC/ADAGP)



『直角の詩』



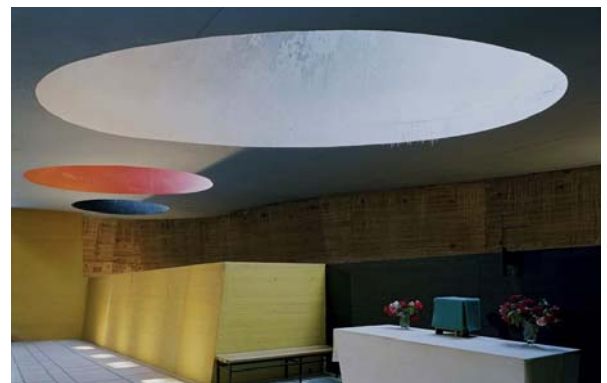
《マルセイユのユニテ・ダビタシオン》  
(photo: Paul kozlowski©FLC/ADAGP)



《チャンディガールの高等裁判所》  
(photo: Manuel Bougot)



《ラ・トゥーレットの修道院》  
(photo: Olivier Martin-Gambier 2004© FLC/ADAGP)



《ラ・トゥーレットの修道院》  
(photo: Olivier Martin-Gambier 2004© FLC/ADAGP)

林 美佐

学習院大学大学院博士前期課程修了後、東京都庭園美術館学芸員を経て、大成建設ギャラリー・タイセイ学芸員 専門はル・コルビュジエの美術作品の研究

「ル・コルビュジエ 1996-1997」展（セゾン美術館他、1996）／「ル・コルビュジエ：建築とアート、その創造の軌跡」展（森美術館、2007）／「ル・コルビュジエと20世紀美術」展（国立西洋美術館、2013）等の企画・監修のほか、近現代の建築、デザインに関する展覧会に携わる 著書に「再発見／ル・コルビュジエの絵画と建築」（彰国社、2000）／「もっと知りたいル・コルビュジエ」（東京美術、2015）など

2008年、西洋美術振興財団学術賞を受賞



(photo: 相原正明)